

## 中国上海市と北京市におけるホームヘルプサービスの現状

鄭 小華・黒田 研二・関川 芳孝

### I. 研究の背景と目的

中国政府は1990年代から、増大する高齢人口の介護問題への対策を講じ始めた。中国民政部は2001年には「中国老齡事業發展十五計画綱要(2001～2005年)」、2006年に「中国老齡事業發展十一五計画(2006～2010年)」<sup>1)</sup>を策定し、高齢者入居施設の増設とともに、高齢者の在宅生活を支援する地域のホームヘルプサービス<sup>2)</sup>の展開を重視するようになってきている。

日本と同様に中国においても家族のもつ介護機能は次第に低下してきており、政府によって高齢者介護サービスが促進される一方で、高齢者の介護ニーズも増大してきている。近年に行われた研究(鄭ら2008、2009)では、中国の高齢者は在宅介護サービスを利用しながら自分の家での生活を維持していく意向が強いことが示されている。

現在、中国では、財政状況の良い都市部において、国の政策に呼応してホームヘルプサービスが実施されている。また、上海市、大連市、北京市、天津市、撫順市などでは、低収入高齢者や、日常生活において介助を要する高齢者、高い年齢層の高齢者などを対象に、介護サービスの補助制度(以下介護補助制度とする)が実施されている。国の政策では、各地方政府が地方の実情に合わせて介護サービスを発展させていく方針がとられているため、これらの都市の介

護補助制度の給付基準、給付方法はそれぞれ異なっている。2008年において受給者1人当たり1カ月、天津市では100元から200元まで、北京市では50元から250元まで、遼寧省撫順市では50元から140元までの介護補助制度を実施している(中国民政部2009)(2008年の平均為替相場で1元は約14.8円に相当)。多くの都市ではバウチャー(サービス券)を介して、介護補助制度を介護サービスの現物給付の形で実施しているが、一部の都市では金銭給付を行っている。また、地方政府によって介護補助給付の基準や関連施策の内容が異なるため、ホームヘルプサービスの現状、ホームヘルパーの労働実態にも差異が生じている。ホームヘルパーの雇用については、地域の失業住民や早期定年退職者の再就職施策の一環として取り組む都市(上海市、天津市など)がある(中国新聞晨報2004、中国天津日報2008)一方で、ホームヘルプサービスを民間会社に委託し、地方政府がヘルパーの雇用に関与しない都市(北京市)もある。

また、ヘルパーの社会的地位が低く待遇が悪いため、人材が集まらず人手不足が問題となっている(中国民政部2008)。現状では、都市部介護サービス従事者には農村部からの出稼ぎ労働者が少なくない。高齢者の介護サービスのニーズが増大しつつある中国において、ホームヘルパーを定着性のある職業として確立することが重要な課題だと思われる。しかし、各地のホー

ムヘルプサービスはまだ実施され始めて期間が短いこともあり、ホームヘルプサービスに関する研究はほとんど行われていない。

本研究は、上海市と北京市において、ホームヘルプサービスを所管する行政部門とサービス事業者からの聞き取り調査、ホームヘルパーに対する質問紙調査を行うことによって、両都市のホームヘルプサービスの運営形態、介護補助制度の給付水準、ヘルパーの人材確保策(資格要件、社会保険の適用)などの実態を明らかにし、ヘルパー自身の仕事に対する満足度、定着性を両都市間で比較し、それらの関連要因を分析することを目的にした。両都市では、ホームヘルプ事業の開始時期が異なり、介護補助制度の水準にも違いがある。また、ヘルパー雇用に当たり地域の失業住民や早期定年退職者の再就職施策を重視するかどうか、民間会社への委託を重視するかどうかといった違いもある。こうしたホームヘルプ関連施策の違いが、ヘルパーの特性や仕事の満足度、定着性に差をもたらしているかどうかを検討した。

## II. 研究方法

本研究では、調査の協力が得られた上海市のA区のX1街道<sup>3)</sup>とB区のX2街道、北京市のC区のY1、Y2、Y3の3つの街道において、ホームヘルプサービスおよび介護補助給付に関与する行政担当者と、ホームヘルプサービス事業者からの聞き取り調査を実施し、さらに、サービス事業所に所属するホームヘルパーを対象とする無記名の自記式質問紙調査を行った。

上海市では、2009年1月14日から20日にかけて、A区の民政局の担当者と、A区X1街道とB区X2街道の行政担当者から、また2つの街道のホームヘルプサービス事業所である2つの助老服務社(ホームヘルプサービス事業所)の責任者から、聞き取

り調査を実施した。また、ホームヘルパーの調査は、2008年12月31日と2009年1月20・21日に、2つの助老服務社の毎月の例会の際に行った。A区のX1街道の助老服務社のヘルパーの106人のうち60人、B区のX2街道の助老服務社のヘルパー75人のうち63人、合計122人からの回答が得られた(回答率67.4%)。

北京市では、2009年6月2日から12日にかけて、C区の民政局の担当者、Y1、Y2、Y3街道の行政担当者、およびY1とY2の街道のホームヘルプサービス提供事業所責任者から、聞き取り調査を実施した。ホームヘルパーの調査も、聞き取り調査と同期間に実施した。Y1街道の社区服務中心(政府主導型地域サービスセンター)のヘルパー20人のうち16人、Y2街道の契約家政会社のヘルパー37人のうち33人、Y3街道の契約家政会社のヘルパー27人のうち21人、合計70人からの回答が得られた(回答率83.3%)。調査票の配布と回収は、社区服務中心または家政会社を通じて行った。

ホームヘルパーの調査では、性別、年齢、戸籍、学歴、前職内容、研修の有無、資格の有無、現在の所属事業所での勤務年数、以前の介護職の経験年数、月収、担当する高齢者人数、社会保険制度(年金保険・医療保険・失業保険)への加入状況、ヘルパーの仕事に関する満足度などを尋ねた。

聞き取り調査とホームヘルパー調査では調査の趣旨を説明して同意を得て回答してもらった。研究の倫理的配慮に関して、著者の所属する大学の研究倫理委員会の審査と承認を得た。

ホームヘルパー調査の分析は、以下の手順で行った。まず、ヘルパーの特性に関する回答の分布を調べ、両都市間で比較した。次に、ヘルパーの仕事への満足度に関する5項目の質問への回答分布を両都市間で比較した。また5項目を元に指標化した満足度をもとに、満足度が「高い群」

と「低い群」に区分し、都市別に両群間の比較を行い、仕事満足度に関連する要因を分析した。さらに、ヘルパーの仕事への定着性に関連する要因を検討するため、ヘルパー勤務期間が「2年以上」と「2年未満」の2群に区分し、都市別に両群間の比較を行った。最後に、ヘルパーの戸籍によって2区分（「在住都市戸籍」「他地域戸籍」）し、都市別に両群間の比較を行った。分析は、統計解析ソフトウェアSPSS 15.0J for Windowsを用いて行い、2群間の回答分布の有意差をみるため、 $\chi^2$ 検定を行った。

### Ⅲ. 研究結果

#### 1. 聞き取り調査の結果

##### (1) 上海市

中国において上海市は最も早く人口が高齢化した地域であり、最も早く高齢者の介護対策に取り組んだ地域でもある。2008年現在、上海市では65歳以上高齢人口が総人口の15.4%を占めている（上海市民政局2008年）。

上海市は、2000年にホームヘルプサービスと介護補助制度を一部の地域で実験的に実施し、2001年から18の行政区・県の全地域に普及させた。介護補助給付はホームヘルプサービス、施設入居サービス、デイサービスに適用できる。2009年現在、補助の申請をする高齢者の経済状況、身体機能（日常生活動作（ADL）の自立度、認知能力等の精神状態・視力）の状況、生活環境、疾病罹患状況などに基づいて、300元から500元までの補助がバウチャー（サービス券）で給付される。今回の調査地域であるA区では、2008年度に計1.32万人の60歳以上高齢者<sup>4)</sup>（A区60歳以上高齢人口の7.2%）がホームヘルプサービスを受けていた。

補助給付となるホームヘルプサービスは各街道に設置される助老服務社から提供される。各

助老服務社は所轄する区と街道の財政から1:1の投資で設立されたホームヘルプサービス事業所であり、地方政府の財政で運営されている。助老服務社はサービスの提供とともに、ヘルパーの雇用、研修、資格交付、勤務体制などを管理している。研修は、職業倫理、介護行為、家事援助、心理的ケア、緊急時対応などに関するものである。研修をした人は「助老服務員」という資格証書を受け、ヘルパーとしてホームヘルプサービスに携わることができる。ヘルパーの給料は基本的に時給制である。介護補助給付となるサービスについては1時間当たり約8元の利用料金（市・区の財政と福祉宝くじ<sup>5)</sup>公益金から支出）、利用者自費負担のサービスについては1時間当たり8~10元の利用料金となる。サービスの利用料金はほぼ全額がヘルパーの賃金になる。

上海市は2004年から、地域失業者の再就業のため、「万人就業項目（職域）」を指定し、指定された職域に再就業する市民を対象に、社会保障諸制度の加入や再就業の研修などに対して補助金を支給している。ヘルパー職が万人就業職域の一つであるため、各街道の助老服務社は地域の失業住民からヘルパーを雇用するように努めている。

A区のX1街道では、ヘルパーの雇用について、他地域からきた出稼ぎ者である外来工<sup>6)</sup>の person費が低いとため、上海市の関連施策が許せる範囲で「外来工」を雇用している。

X1街道の助老服務社は2004年に設立された。現在、当助老服務社では106人のホームヘルパーを登録しており、約1,100人の地域高齢者にサービスを提供している。ヘルパーのうち、上海市の戸籍を持っている上海市「万人就業項目」プロジェクトで再就業した者が44人、残りの62人は地域の早期定年退職住民または外来工である。「万人就業項目」プロジェクトで再就業した者について、1人に対して、市と区の財政から1か月

450元の賃金補助と、社会保険料(医療保険、年金保険、失業保険)の補助が支出される。

B区のX2街道は上海市の施策に従い、A区とほぼ同じようにホームヘルプサービスを実施している。ヘルパーの雇用では、当街道は地域失業住民または早期定年退職住民から優先して採用している。X2街道の助老服務社は2004年に設立された。現在当社では70人のホームヘルパーを登録しており、1,265人の高齢者にサービスを提供している。ヘルパーのうち、「万人就業項目」プロジェクトで再就業した地域失業住民が52人であり、市と区の財政から賃金の補助と各種社会保険料の補助を受けている。残りの18人は地域の早期定年退職住民と外来工(2人)である。2人の外来工に対して、当社は「外地従業員総合保険」<sup>7)</sup>に加入させている。

## (2) 北京市

北京市も中国において人口高齢化率の高い地域であり、2007年現在、65歳以上高齢人口が総人口の13.1%を占めている(中国全国老齡工作委员会2008)。

北京市は国の政策に呼応して2005年から市内の一部地域において、2007年からは18ある行政区・県のそれぞれの一部地域において、ホームヘルプサービスと介護補助制度を実験的に開始した。2008年10月からはC区を含めて10の行政区において、その全域にホームヘルプサービスと介護補助制度を普及させている。上海市と同様、北京市では介護補助給付がホームヘルプサービスや、施設入居サービスに適用できる。北京市の介護補助制度では、補助の申請をする高齢者の経済状況、日常生活動作(ADL)と手段的日常生活動作(IADL)の自立状況に基づいて、50元から250元までの補助がバウチャー(サービス券)で給付される。補助給付となるホームヘルプサービスは各街道の社区服務中心を介して提供され

る。ホームヘルプサービスについて、社区服務中心が民間の家政会社と契約して、サービスの提供を委託する街道が多い。北京市では、ヘルパーに対して主に職業倫理・規則に関する研修を求めているが、資格に関しては特に規定がない。

C区は2007年からY1街道を含む一部の街道においてホームヘルプサービスと介護補助制度を実験的に開始し、2008年10月から全地域で実施している。2008年10月から2009年4月までC区では計3,337人の60歳以上高齢者(60歳以上高齢人口の4.7%)が介護補助給付を受給している。

C区のY1とY2街道では、介護補助給付が1人当たり50~250元であるが、現状では50元を受けている高齢者の割合が多い(約50%)。補助給付がホームヘルプサービスに利用される場合、月に2回、1回当たり2時間程度の利用が多い。サービスの利用料金は1時間当たり10元程度であり、市・区の財政と福祉宝くじ公益金から支出される。利用料金の全額がヘルパーの賃金になるが、社会保険金など諸費用の支出がそのうちの30%を占めている。Y1街道はC区で唯一、地域住民を雇用してホームヘルプサービスを提供している街道である。介護補助給付となるホームヘルプサービスは当街道の社区服務中心の20人の登録ヘルパーによって提供されている。20人のヘルパーのうち、他地域から嫁いできた住民、地域の早期定年退職住民や失業住民が多い。Y1街道の社区服務中心では、ヘルパーの諸社会保険制度の加入を任意加入としている。Y2街道は、補助給付となるホームヘルプサービスを、契約している民間家政会社に委託している。サービス料金はY1街道と同様1時間当たり10元程度であるが、サービスの内容によって料金が異なる場合がある。

Y2街道のホームヘルプサービスの契約家政会社R社は、2005年1月に設立されたもので、家庭

教師、ホームヘルパー、病院の付き添い、引越し手伝いなどの派遣会社である。当社は複数の街道社区服务中心と契約しており、委託を受けてホームヘルプサービスを提供している。現在、当社では25人のヘルパーを登録しており、そのうち、地方から嫁いできた地域住民(7~8人)、早期定年退職した地域住民(5~6人)のほか外来工が多い。ヘルパーの給料は時給制であり、サービス内容によって1時間当たり10元から15元の給料となる。当社は登録ヘルパーを労働者災害保険制度に加入させている。会社は利用者の利用料から20%の管理費を引いて運営をしている。

## 2. ヘルパー質問紙調査の結果

### (1) ヘルパーの特性に関する都市間比較

両都市のヘルパーの特性に関する回答の分布を表1にまとめた。両都市とも、女性ヘルパーの割合が95%を超えていた。年齢は、上海市では40歳代が62.8%、50歳代が23.1%であった。北京市でも40歳以上が半数を超え、39歳以下の割合は44.3%であった。戸籍は、「在住都市戸籍」をもつ人の割合が上海市では82.8%、北京市では57.1%であった。資格については、上海市では「有り」の人の割合は81.6%であり、北京市の22.9%より高かった。所属事業所での勤務期間2年未満の人は、上海市23.0%に対し、北京市では78.6%を占めた。年金保険、医療保険、失業保険の各社会保障制度に「加入している」ヘルパーの割合は、いずれも上海市が北京市より高かった。

### (2) ヘルパーの仕事への満足度

ヘルパーの仕事に満足を感じているかどうかを調べるため、表2にあげる5項目の質問に対して5件法で回答を求めた。これらの質問に回答したヘルパーは、上海市103人、北京市53人であった。各項目について、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせて「そう思う」とし、「どちらとも言

えない・よく分からない」を「分からない」とし、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせて「そう思わない」として回答を3区分にして表に示している。5項目の回答においていずれも満足を表す回答割合は上海市の方が北京市より高かった。特に、「3.介助する高齢者は自分のことを信頼している」に対して、「そう思う」の割合は上海市では93.9%、北京市67.3%と差が大きかった。「5.自分は介護職に向いていない、現在の仕事を長期的にしようと思わない」に対して、「そう思わない」の割合は上海市で57.6%、北京市で37.5%であった。

ヘルパーの仕事への満足度を指標化するために、5項目の回答に、満足度が高いほど点数が多くなるように1点から5点の得点を与えて各項目の平均得点を求めた(項目5は消極的内容であるため、その回答の得点は逆転させた)。この平均得点の、両都市合わせた分布の中央値を基準にして、調査対象をほぼ均等に満足度が「高い群」と「低い群」に2区分した。満足度が「高い群」に属する人は上海市では52人(50.5%)、北京市では25人(47.0%)である。次に、都市別に2群間でヘルパーの諸特性を比較した結果を表3にまとめた。仕事への満足度が「高い群」と「低い群」を比べると、上海市では、満足度が「高い群」で資格「有り」の人の割合、および月収が「1,000元以上」の人の割合が有意に高かった。北京市では、満足度が「高い群」では、45歳以上の人、年金保険・医療保険・失業保険に加入している人の割合が高かった。

### (3) 所属事業所での勤務期間と諸特性との関連

ホームヘルパー職への定着性と関連する要因を調べるために、所属事業所での勤務期間が2年未満と2年以上の群に2区分して、両群の間でヘルパーの特性分布を比較した。結果を表4に示す。

両都市に共通して、勤務期間が「2年以上」の人

表1 ヘルパーの特性

項 目	上海市(n=122)		北京市(n=70)		P値	
	人数	%	人数	%		
性別	男性	4	3.3	3	4.3	
	女性	118	96.7	67	95.7	
年齢	39歳以下	17	14.0	31	44.3	
	40～44歳	30	24.8	16	22.9	***
	45～49歳	46	38.0	8	11.4	
	50歳以上	28	23.1	15	21.4	
戸籍	在住都市戸籍	101	82.8	40	57.1	***
	他地域戸籍	21	17.2	30	42.9	
学歴	学歴無し・小学校	8	6.6	6	8.6	
	中学校	73	59.8	33	47.1	
	高校・専門学校・大卒	41	33.6	31	44.3	
前職	貿易・サービス関係	37	30.3	37	52.9	
	生産・運輸関係	53	43.4	8	11.4	***
	仕事をしたことがない・その他	32	26.2	25	35.7	
研究の有無	なし	17	14.9	3	4.3	*
	有り	97	85.1	67	95.7	
資格の有無	なし	21	18.4	54	77.1	***
	有り	93	81.6	16	22.9	
所属事業所で の勤務期間	2年未満	28	23.0	55	78.6	
	2年～4年	55	45.1	15	21.4	***
	4年以上	39	32.0	0	0.0	
以前の介護職 の経験期間	経験がない	71	59.2	50	73.5	
	3年未満	24	20.0	15	22.1	*
	3年以上	25	20.8	3	4.4	
月収	750元未満	38	31.4	14	20.9	
	750～1,000元未満	33	27.3	20	29.9	
	1,000元以上	50	41.3	33	49.3	
担当する高齢 者の人数	1～4人	60	50.0	4	6.9	
	5～6人	49	40.8	5	8.6	***
	7～15人	11	9.2	24	41.4	
	16人以上	0	0.0	25	43.1	
年金保険	加入している	82	75.9	29	48.3	***
	加入していない	26	24.1	31	51.7	
医療保険	加入している	84	77.1	29	48.3	***
	加入していない	25	22.9	31	51.7	
失業保険	加入している	67	62.0	26	43.3	*
	加入していない	41	38.0	34	56.7	

注：比率は無回答を除いたうえで計算している。 + $p<0.1$  \* $p<0.05$  \*\* $p<0.01$  \*\*\* $p<0.001$

表2 ヘルパーの仕事への満足度の回答分布

		(%)		
項 目		上海市 n=103	北京市 n=53	P値
1. 高齢者介護はとても意義のある仕事である	そう思う	97.1	88.7	*
	分からない	2.0	11.3	
	そう思わない	1.0	0.0	
2. 所属事業所では自分の仕事がよく理解されている	そう思う	90.9	76.9	+
	分からない	8.1	19.2	
	そう思わない	1.0	3.8	
3. 介助する高齢者は自分のことを信頼している	そう思う	93.9	67.3	***
	分からない	5.1	24.5	
	そう思わない	1.0	8.2	
4. 現在、仕事上の待遇に比較的満足している	そう思う	69.2	64.7	+
	分からない	7.7	19.6	
	そう思わない	23.1	15.7	
5. 自分は介護職に向いていない、現在の仕事を長期的にしようと思わない	そう思う	29.3	25.0	**
	分からない	13.0	37.5	
	そう思わない	57.6	37.5	

注：+ $p < 0.1$  \* $p < 0.05$  \*\* $p < 0.01$  \*\*\* $p < 0.001$

表3 「ヘルパーの仕事への満足度」の高低と諸特性との関連

		上海市			北京市		
項 目		高い群 n=52	低い群 n=51	P値	高い群 n=25	低い群 n=28	P値
年齢	44歳以下	44.2	35.3		44.0	92.9	**
	45～49歳	36.5	39.2		16.0	3.6	
	50歳以上	19.2	25.5		40.0	3.6	
戸籍	在住都市戸籍	77.4	84.3		64.0	50.0	
	他地域戸籍	22.6	15.7		36.0	50.0	
学歴	学歴無し・小学校・中学校	66.0	64.7		56.0	57.1	
	高校・専門学校・大学	34.0	35.3		44.0	42.9	
前職	貿易・サービス関係	34.0	31.4		56.0	46.4	
	生産・運輸関係	41.5	45.1		20.0	7.1	
	仕事をしたことがない・その他	24.5	23.5		24.0	46.4	
資格の有無	なし	10.0	27.7	*	80.0	75.0	
	有り	90.0	72.3		20.0	25.0	
所属事業所での勤務期間	2年未満	28.3	17.6		84.0	85.7	
	2年以上	71.7	82.4		16.0	14.3	
以前の介護職の経験の有無期間	なし	61.5	56.9		80.0	64.3	
	有り	38.5	43.1		20.0	35.7	
月収	750元未満	20.8	48.0	**	32.0	11.1	
	750～1,000元未満	30.2	14.0		28.0	25.9	
	1,000元以上	49.1	38.0		40.0	63.0	

担当する高齢者の人数	1～6人	90.6	88.2	18.2	11.5	
	7人以上	9.4	11.8	81.8	88.5	
年金保険	加入している	78.8	71.4	73.9	32.1	**
	加入していない	21.2	28.6	26.1	67.9	
医療保険	加入している	80.8	72.0	73.9	32.1	**
	加入していない	19.2	28.0	26.1	67.9	
失業保険	加入している	61.5	61.2	60.9	32.1	*
	加入していない	38.5	38.8	39.1	67.9	

注：比率は無回答を除いたうえで計算している。+ $p<0.1$  \* $p<0.05$  \*\* $p<0.01$  \*\*\* $p<0.001$

表4 「所属事業所での勤務期間」と諸特性との関係

(%)

項 目	上海市			北京市		
	2年未満	2年以上	P値	2年未満	2年以上	P値
	n=28	n=94		n=55	n=15	
年齢	44歳以下	53.6	34.4	72.7	46.7	
	45～49歳	32.1	39.8	9.1	20.0	
	50歳以上	14.3	25.8	18.2	33.3	
戸籍	在住都市戸籍	60.7	89.4	***	56.4	60.0
	他地域戸籍	39.3	10.6		43.6	40.0
学歴	学歴無し・小学校・中学校	82.1	61.7	*	60.0	40.0
	高校・専門学校・大学	17.9	38.3		40.0	60.0
前職	貿易・サービス関係	25.0	31.9		56.4	40.0
	生産・運輸関係	32.1	46.8	+	7.3	26.7
	仕事をすることがない・その他	42.9	21.3		36.4	33.3
資格の有無	なし	20.0	18.0		80.0	66.7
	有り	80.0	82.0		20.0	33.3
以前の介護職の経験の有無	なし	64.3	57.6		69.1	92.3
	有り	35.7	42.4		30.9	7.7
月収	750元未満	21.4	34.4		23.6	8.3
	750～1,000元未満	42.9	22.6	+	34.5	8.3
	1,000元以上	35.7	43.0		41.8	83.3
担当する高齢者の人数	1～6人	85.7	92.4		16.0	12.5
	7人以上	14.3	7.6		84.0	87.5
年金保険	加入している	52.0	83.1	**	49.0	44.4
	加入していない	48.0	16.9		51.0	55.6
医療保険	加入している	60.0	82.1	*	49.0	44.4
	加入していない	40.0	17.9		51.0	55.6
失業保険	加入している	36.0	69.9	**	43.1	44.4
	加入していない	64.0	30.1		56.9	55.6

注：比率は無回答を除いたうえで計算している。+ $p<0.1$  \* $p<0.05$  \*\* $p<0.01$  \*\*\* $p<0.001$



表5 「戸籍」と諸特性との関係

		上海市			北京市		
		在住都	他地域	P値	在住都	他地域	P値
項目		市戸籍 n=102	戸籍 n=21		市戸籍 n=40	戸籍 n=30	
年齢	44歳以下	29.0	85.7		45.0	96.7	
	45～49歳	44.0	9.5	***	17.5	3.3	***
	50歳以上	27.0	4.8		37.5	0.0	
学歴	学歴無し・小学校・中学校	63.4	81.0		37.5	80.0	***
	高校・専門学校・大学	36.6	19.0		62.5	20.0	
前職	貿易・サービス関係	28.7	38.1		60.0	43.3	
	生産・運輸関係	50.5	9.5	**	20.0	0.0	**
	仕事をしたことがない・その他	20.8	52.4		20.0	56.7	
資格の有無	なし	15.6	33.3	+	80.0	73.3	
	有り	84.4	66.7		20.0	26.7	
所属事業所での勤務期間	2年未満	16.8	52.4	***	77.5	80.0	
	2年以上	83.2	47.6		22.5	20.0	
以前の介護職の経験の有無	なし	59.6	57.1		71.1	76.7	
	有り	40.4	42.9		28.9	23.3	
月収	750元未満	34.0	19.0		23.1	17.9	
	750～1,000元未満	26.0	33.3		35.9	21.4	
	1,000元以上	40.0	47.6		41.0	60.7	
担当する高齢者の人数	1～6人	94.9	71.4	**	17.1	13.0	
	7人以上	5.1	28.6		82.9	87.0	
年金保険	加入している	90.9	10.0	***	68.8	25.0	**
	加入していない	9.1	90.0		31.3	75.0	
医療保険	加入している	89.9	20.0	***	68.8	25.0	**
	加入していない	10.1	80.0		31.3	75.0	
失業保険	加入している	75.0	5.0	***	59.4	25.0	**
	加入していない	25.0	95.0		40.6	75.0	

注：比率は無回答を除いたうえで計算している。+ $p < 0.1$  \* $p < 0.05$  \*\* $p < 0.01$  \*\*\* $p < 0.001$

では月収「1,000元以上」の人の割合が高かった。また、上海市では、勤務期間が「2年以上」の人に、在住都市戸籍をもつ人、年金保険・医療保険・失業保険の各社会保障制度に加入している人の割合が高かった。

#### (4) 戸籍とヘルパーの諸特性との関係

上海市において2年以上勤務のヘルパーは「在住都市戸籍」である割合が高かった。また両都市で「在住都市戸籍」と「他地域戸籍」のヘルパーの

割合には差がみられた。そこでヘルパーの戸籍とそのほかの諸特性との関係を都市別に分析し、表5に示した。両都市ともに、「他地域戸籍」を有する人では、「44歳以下」の人の割合が高く、また、ヘルパーになる前に無職であった人、年金保険・医療保険・失業保険の諸保険に加入していない人の割合が高かった。

#### IV. 考察

近年、中国の都市部でホームヘルプサービスが実施され始めたが、その現状に関する調査研究は乏しい。本研究は、上海市と北京市においてホームヘルプサービスの地域行政担当者と提供事業所責任者からの聞き取り調査、ヘルパーへの質問紙調査を行うことによって、その実態を実証的に提示したことに意義がある。

本研究において、上海市と北京市のホームヘルパーは、女性で40歳以上の人が多いことが分かった。この実態は陳(2010)の中国大連市高齢者施設の介護職員に関する調査結果や、日本のホームヘルパーの実態調査(石橋ら2004、張2005)の結果と一致している。一方、ヘルパーの特性、ヘルパーの仕事に関する意識(満足度)、介護職への定着性などに関しては、両都市間で差異がみられることも明らかになった。上海市と北京市ではホームヘルプサービスおよび介護補助制度の開始時期やヘルパーの雇用施策が異なることが背景にあると考えられる。

上海市では、ホームヘルパーの雇用に地域失業住民の再就業施策を組み込んでいるため、ヘルパーには「在住都市戸籍」をもつ人、40歳以上の人の割合が北京市より高かった。また、上海市では介護職として再就業した失業住民に、地方政府から社会保障諸制度の加入保険料の補助が支給されるため、ヘルパーの年金保険、医療保険、失業保険の加入割合は北京市より高かった。上海市では資格「有り」のヘルパーの割合が北京市より多かったが、それは上海市ではヘルパーの資格システムが北京市より重視されていることを物語っている。

一方、北京市では、ヘルパーが担当する高齢者の人数は上海市より多かった。その理由として北京市は介護補助制度の給付基準額が前述の

ように上海市より低く、そのためホームヘルプサービス利用者1人当たりの給付時間数が上海市より少ないため、ヘルパー1人当たりの担当者数が多くなっていると考えられる。また、北京市ではホームヘルプサービスの提供が契約家政会社に委託されることが多く、サービスの運営およびヘルパーの雇用に行政的関与が少ないため、ヘルパーのうち他地域戸籍をもつ若い出稼ぎ者の割合が多かった。

ヘルパーの仕事への満足度に関する5項目の質問に対し、満足の回答をした人の割合は、いずれも上海市の方が北京市より高かった。満足度が高いヘルパーと低いヘルパーを比較すると、上海市では、資格の有無および月収に関して有意差がみられ、満足度が高い群では資格のある人の割合、月収1,000元以上の人の割合が高かった。張(2005)はホームヘルパーの業務専門性とサービス評価に関する韓日比較の研究において、ヘルパーの知識と技術のレベルが高いほど、サービスに対する自己評価が高いことを明らかにしている。資格を持ち、専門知識・技術を有することにより、仕事に対する自己評価や満足度が高まるものと考えられる。ヘルパーの学歴をみると両都市ともに、学歴なし・小学校・中学校の人が6割程度であり、高齢者の介護ニーズを満たす質の高い支援を行うには、改めて専門知識や技術を学習する機会を保証することが必要だと思われる。ヘルパーの仕事への満足度を高めるためにもサービスの質を高めるためにも、専門知識と技術を重視した資格制度の整備が不可欠であろう。一方、北京市で、ヘルパーの仕事満足度の高低に関連する要因は年齢と社会保険への加入の有無であった。すなわち満足度が高いヘルパーは、低いヘルパーに比べて45歳以上の人、社会保険に加入している人の割合が高かった。中国では45歳以上の女性では失業者または早期定年退職をした人が少なくない。近年地方

政府の施策でこれらの中年の再就業に配慮するところが徐々に増えている。中年女性は高齢者介護事業の主な担い手になると思われる。ヘルパー職に就業した人が安定して仕事を継続できるよう社会保険制度を整備することも必要である。

現在所属する事業所で2年以上勤務しているヘルパーは、上海市では4人に3人、北京市では4人に1人と大きな差が認められた。その第一の理由は、上海市では21世紀になり早い時期からホームヘルプサービスが導入されたのに対し、北京市ではホームヘルプサービスが本格実施されてからの期間が短いことであろう。それぞれの都市の中で、2年以上の勤務者と2年未満勤務者の比較をすることで、ヘルパーの仕事への定着性に関連する要因を検討した。上海市では、2年以上勤務者には在住都市戸籍の人、高校卒以上の学歴の人、社会保険に加入している人の割合が2年未満勤務者より高く、北京市では、月収が1,000元以上の人が2年以上勤務者に多かった。社会保険制度への加入および月収に示される待遇状況は、ホームヘルパーの仕事への定着性に関連する要因だと推察できる。

ところで都市住民の平均月収は、2008年度北京市では2,060元(北京市統計局2009)、2009年度上海市では2,400元(上海市統計局2010)であった。今回の調査では、両都市のヘルパーの月収分布に有意差はなく、両都市合わせて、「750元未満」が27.7%、「750元～1,000元未満」が28.2%で、「1,000元以上」は44.1%でしかなかった。中国の介護従事者の給料待遇が低いことはほかの中国都市部高齢者施設職員の調査(趙2005、陳2010)においても報告されている。今回の調査からも、両都市ともにヘルパーの収入はその都市の住民平均収入より低いことがわかる。前述のように、月収や社会保険制度への加入は、ヘルパーの仕事への満足度と関連する要因でもあるので、今

後こうした待遇面での改善を図ることが、仕事満足度や定着性を高めるために重要であるといえる。

上海市ではホームヘルパーとして2年以上勤務している者では「在住都市戸籍」の割合が高かった。戸籍の種類(都市戸籍か農村戸籍か)によって介護職員の勤務年数に差がみられることは、大連市の施設介護者を調べた陳(2010)の研究においても報告されている。「在住都市戸籍」の人と「他地域戸籍」(農村戸籍が大部分を占める)の人を比較すると、上海市と北京市に共通して、他地域戸籍の人には、44歳以下の若年者、ヘルパーになる前は無職だった人、社会保険に加入していない人の割合が高いという特徴がみられた。中国の都市部では、その地域の戸籍をもつ住民のみを対象として社会保障政策を実施している。そのため「在住都市戸籍」をもつヘルパーは「他地域戸籍」のヘルパーに比べ、社会保障諸制度に加入している割合が高く、ヘルパー職への定着性も高いと考えられる。しかし今後、高齢者介護事業の人手不足を解消するには、現地戸籍住民以外の流動労働力を雇用することは避けられないと思われる。中国の流動人口は1990年代では規模が大きく、沿海地方の都市部における産業に多く進出していたが、2000年以降各地の地方産業の発展によって、各地域に分散する傾向がみられている(王2006)。高齢者介護事業の従事者確保に、上海市のように現地住民からの雇用を重視するとしても、今後は、社会保障諸制度を強化したうえで他地域戸籍の人の雇用も考えなければならないであろう。

以上みてきたように、上海市、北京市の両都市ではホームヘルプ事業の開始時期が異なること、介護補助制度の水準が異なること、地域失業者の再雇用や資格を重視するかどうかといったヘルパー雇用についての政策上の差異などによって、ヘルパーの特性分布(年齢、戸籍、資格

の有無、勤務期間、担当する高齢者の人数、社会保険加入など)には差が認められ、また、ヘルパーの仕事への満足度や定着性に関連する要因にも差がみられた。一方、仕事への定着性に対する月収の関連といった共通する要因も見いだされた。

なお、上記のように両都市でみられた差異は、それぞれの都市のホームヘルプサービス関連施策の差異を反映したものだと考えられるが、差異をもたらす要因としては、都市の特性以外に事業者の特性が反映している可能性もある。また、今回の両都市の調査対象地区や対象事業者は、協力が得られることを条件に任意に選定されたものであり、それらが両都市の実態を反映する代表制のあるサンプルであるかどうかには更なる検討が必要である。ホームヘルパー質問紙調査のサンプル数もさほど多くなかったため、両都市全域のホームヘルプサービスの実態の解明という点でも限界がある。さらに、現在、中国政府および中国の各地方政府において、高齢者介護サービスを含む社会保障諸制度の整備が進みつつあり、数年の間にサービス提供の現状も変化してきている。本研究は2009年時点での上海市と北京市のホームヘルプサービスの一端を捉えて比較したものと位置づけられる。中国の高齢者介護の実態を把握するには、各地域の施策の展開を考慮しながら、研究を継続する必要がある。

投稿受理(平成22年 4月)

採用決定(平成22年10月)

## 謝 辞

本研究の実施では、上海市華東師範大学の桂世勛教授と北京市石景山区民政局にご協力を賜った。心から感謝申し上げます。また、本調査は、(財)日本証券財団からの研究助成(主任研究者：大阪府立大学人間社会学部関川芳孝)によって実

施することができた。

## 注

- 1) 「十五計画」とは第十次五カ年計画、「十一五計画」とは第十一次五カ年計画とのことである。
- 2) 中国では、ホームヘルプサービスは居家養老服務という。
- 3) 中国の地方行政区画(単位)は、省(自治区、直轄市)、市、区(県)、街道(郷、鎮)、居民委員会という段階となっている。
- 4) 中国では一般的に、高齢者とは60歳以上の者をさす。
- 5) 福祉宝くじは1990年代から、社会福祉事業の資金を集める目的で発行されている「福利彩票」のことである(民政部1994)。
- 6) 農村を含む他地域から都市部に出稼ぎに来る人たちは「外来工」と呼ばれている。
- 7) 「外地従業人員総合保険」とは、上海市において2002年から施行されてきた、上海市で就労する他地域戸籍の人々を対象として、事故による負傷の保険、入院治療の医療保険、養老(年金)保険の三項目を含む総合保険である。

## 参考文献

- 北京市統計局ホームページ 2009「北京市2008年国民经济和社会发展统计公报」  
(<http://www.bjstats.gov.cn/tjnj/2009-tjnj/>, 2010.03.16)
- 陳引弟 2010「中国都市部における老人施設介護職員の労働実態に関する研究—質問紙調査を中心に」『介護福祉』第17巻第1号 pp.108-115.
- 石橋智昭・佐久間志保子・滝波順子・ほか 2004「ホームヘルパーの就業実態—都市部の指定訪問介護事業従事者」『厚生指標』第51巻第1号 pp.7-11.
- 上海市民政局 2009「2008年上海市老齡事業發展報告書」  
(<http://www.shmzj.gov.cn/gb/shmzj/node6/node592/node596/userobject1ai22228.html>, 2009.09.15)
- 上海市統計局 2010「2009年上海市国民经济和社会发展统计公报」  
(<http://www.stats-sh.gov.cn/>, 2010.03.16)
- 張允楨 2005「ホームヘルパーの業務専門性とサービス評価に関する韓日比較」『厚生指標』第52巻第13号 pp.10-16.
- 天津日報 2008.04.04「失業者がホームヘルプサービス事業において再就業、わが市は高齢者事業の設置を政策上に支える(下岗失业人员在居家养老服务中找到再就业机遇, 我市政策扶持办养老机构)」.
- 王徳文 2006「わが国の労働力の流動における新たな

- 傾向（我国劳动力流动的新趋势）」中国社会科学  
院院報。
- 新聞晨報 2004.01.17（謝惠仁）「上海市は12項目の万  
人就業職域を指定し、困難市民階層が就業ができ  
る（困难群体体面就業、上海启动12个万人就业项  
目）」。
- 趙偉偉 2005「中国の社区における高齢者ケア」『保健  
の科学』第47巻第8号 pp.584-588.
- 鄭小華 2009『中国都市部における高齢者介護サー  
ビスに関する研究』大阪府立大学大学院人間社会学  
研究科社会福祉学専攻2009年度博士学位論文。
- 鄭小華・黒田研二 2008「北京市高齢者の介護サー  
ビス利用希望およびその関連要因に関する研究」  
『社会福祉学』第48巻第4号 pp.131-145.
- 中国国家统计局ホームページ「地方年度統計公報」  
(<http://www.stats.gov.cn/tjgb/>, 2010.03.16)
- 中国民政部 1994「中国福祉宝くじ管理方法」(中国福  
利彩票管理办法).
- 中国民政部 2001「中国老齡事業發展十五計画綱要  
(2001~2005年)」(中国老齡事业发展‘十五’年计  
划綱要).
- 中国民政部 2006「中国老齡事業發展十一五計画」  
(中国老齡事业发展‘十一五’年规划).
- 中国民政部 2008「在宅サービスの全面推進に関する  
意見」(关于全面推进居家养老服务工作的意見)  
([http://www.mca.gov.cn/article/zwgk/fvfg/shflhshsw/  
200802/20080200011957.shtml](http://www.mca.gov.cn/article/zwgk/fvfg/shflhshsw/200802/20080200011957.shtml), 2009.10.10)
- 中国民政部 2009「老年福利政策文件汇编」(各地老年  
福利政策編集)  
([http://fss.mca.gov.cn/article/Inrfl/zcfg/200902/  
20090210026930.shtml](http://fss.mca.gov.cn/article/Inrfl/zcfg/200902/20090210026930.shtml), 2009.10.09)
- 中国全国老齡工作委员会ホームページ 2008「2007年  
北京市老年人口情報と老齡事業發展狀況報告」  
(北京市2007年老年人口信息和老齡事业发展狀況报  
告)  
([http://www.cnca.org.cn/default/iroot1001310000/  
4028e47d1bbeb02e011cdfa7554a0900.html](http://www.cnca.org.cn/default/iroot1001310000/4028e47d1bbeb02e011cdfa7554a0900.html), 2009.08.  
16)
- (Xiaohua Zheng 大阪府立大学客員研究員)  
(くろだ・けんじ 大阪府立大学教授)  
(せきかわ・よしたか 大阪府立大学教授)